

2011 - 2012

国際ロータリー 第2660地区

地区委員会

活動報告書



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

ガバナー 岡部泰鑑

目 次

ガバナー挨拶	1
地区ガバナー指名委員会	2
意義ある業績賞委員会	3
地区研修委員会	4
クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕・拡大増強委員会	5
広報委員会	6
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会	7
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会	8
新世代奉仕部門	
新世代合同委員長会議	9
青少年活動委員会	10
ローターアクト委員会	12
インターアクト委員会	13
青少年交換委員会	15
国際奉仕部門	
国際奉仕・WCS委員会	17
ロータリー財団部門	
ロータリー財団委員会	18
財団情報・増進委員会	19
財団奨学金・学友委員会	20
研究グループ交換委員会	21
財団人道的補助金委員会	22
財団FVP（未来の夢計画）委員会	23
米山奨学部門	
米山奨学委員会	24
地区大会実行委員会	26
ロータリーの友	27
地区財務委員会	28
2011～2012年度 地区資金決算書	30

地区委員会の皆様方の 地区活動に感謝とお礼

会員番号一七八八四四

(OR部八) 阪大南本館 員名

(OR部大) 阪大南本館 員名

(OR部大) 阪大南本館 員名

(OR部大) 阪大南本館 員名

(OR部大) 阪大南本館 員名

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 岡部 泰 鑑

2011～2012年度RI会長 カリヤン・バネジー氏のテーマ『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために』すなわち“何かを成し遂げようと思うならありとあらゆる知恵を振り絞らなければならない。それには、まず自分自身の内側から始めるしかない”と国際協議会で宣言されました。私は日本に帰国後すぐに始まるPETSおよび地区協議会に臨むにあたり、地区のテーマを『見直しをすすめ 新たな第一歩を』といたしました。これは松本PGの地区テーマ『ロータリークラブについてもう一度考えて見ませんか』を一年で終わらせてはならない、地区中全会員にロータリーの原点に戻っていただきたいという思いからテーマといたしました。

私の年度は皆様のご記憶に残っています“東日本災害支援活動”に始まり、これに終わったといっても過言ではありません。ただし、他の活動を決しておろそかにしたということではありません。夫々の委員会は夫々に当初の事業計画に従ってそれらを順調に実施していただきましたことに感謝いたしております。

例えば、地区の強調事項として公共イメージと認知度の向上ということから、テレビ大阪創立30周年開局記念とエンドポリオを謳って7月18日に30分間のテレビ番組「感染症ポリオ残り1%の闘い」を放映出来、このDVDを全国のガバナーへ送付いたしました。

新クラブ結成については、大阪で初めての試み、モーニングクラブを立ち上げることが出来ました。「大阪アーバン・ロータリークラブ」です。例会場はJR大阪駅「ホテルグランヴィア大阪」例会日は毎週水曜日、午前7時30分～8時30分。食事は1例会につき1,500円、会員連絡手段は全て電子メールとしました。これらもひとえに地区委員会活動を支えて下さった地区委員の方々のご努力によるものです。

さて、本年度私にとって強烈な印象となりましたのは、去年3月11日に起こりました東日本大震災 災害支援の件です。3月のPETS、4月の地区協議会、7月の合同地区委員会、8月の地区財団セミナー等々におきましてご寄付のお願いをいたしました。当地区には“打てば響く”会員がおられました。総案件45件、総額116,301,006円のプロジェクトの支援を行うことが出来ました。これには地区内クラブの会員および国外友好クラブからもご寄付をいただきました。本当に有り難いことでした。

最後になりましたが、それらを総合的に考慮の上、今年5月のタイ国際大会において世界532地区の上位15の優秀地区に選ばれるという光栄ある賞をいただきました。

本当に短くも長い1年間でした。これはひとえに地区委員会の皆様方の暖かいご支援によるものと感謝しており、また重ねてお礼申し上げます。なお、これからもPGとして地区にとどまりますので、これからもご支援の程よろしくお願い申し上げます。本当に有り難うございました。

合掌

地区ガバナー指名委員会

- 委員長 松本新太郎 (八尾RC)
委員 岩田宙造 (大阪南RC)
委員 新谷秀一 (池田くれはRC)
委員 横山守雄 (大阪中央RC)
委員 大谷透 (大阪西南RC)

ガバナー月信9月号において、2014-2015年度ガバナー候補者の推薦を地区内全クラブに対して依頼致しましたが、締切り期日までにお申し出がありませんでした。

従いまして、当委員会は国際ロータリー細則第13条、及び当地区ガバナー指名委員会の規約に基づき、大阪帝塚山ロータリークラブ会員、泉博朗君をガバナー・ノミネー候補者として推薦することに全員一致をもって、決定致しました。

ガバナー指名委員会の決定に基づき、岡部泰鑑ガバナーは泉博朗君を2014-2015年度ガバナーとして指名宣言されました。委員会の皆様のご協力に感謝申し上げご報告とさせていただきます。

意義ある業績賞委員会

- 委員長 松本新太郎 (八尾RC)
委員 横山守雄 (大阪中央RC)
委員 大谷 透 (大阪西南RC)

ロータリークラブの活動の中で、社会的に有意義で、かつ卓越した活動に対して、RI会長は「意義ある業績賞」を地区内の一つのクラブに贈呈し、地区大会で表彰します。当委員会はその受賞該当クラブを選考し、岡部泰鑑ガバナーに報告することがその役目となります。

本年度は、歴史と伝統のある当地区における社会奉仕・国際奉仕の奉仕実績に鑑み、本賞に値すると自己評価できるだけの奉仕プロジェクトがどのクラブにおいてもなされなかったと見えて、どのクラブからも申請が行われませんでした。本年度はその事を公表し、選考基準を再度地区内全クラブに伝達し、今後は当地区における奉仕実績の高い伝統を更に高めるべく、よき奉仕活動がなされるように奨励して頂くよう、岡部泰鑑ガバナーへその旨で報告致しました。

地区研修委員会

リーダー 戸田 孝 (八尾RC)
サブリーダー 井上 暎夫 (千里RC)
サブリーダー 神崎 茂 (大阪西RC)
サブリーダー 横山 守雄 (大阪中央RC)

委員 金森 市造 (くずはRC)
委員 三木 優 (大阪イブニングRC)
委員 矢野 巖 (大阪大淀RC)
委員 西上 博幸 (吹田江坂RC)
委員 宮里 唯子 (茨木西RC)
委員 畑田 耕一 (豊中RC)
委員 木村 芳樹 (大阪南RC)

1. 「会員研修部門分科会」で、私が書いた「ロータリークラブに入ってよかった！素晴らしい出会い、よき師、よき友は人生の宝」の演題で講演した後、各テーブルに、新会員をリードしていただく地区・会員研修委員に参加していただき、各テーブル毎に同テーマをもとに研修討論を行い、テーブルリーダーに討論概要記録を取って頂き、各テーブルからの感想と質問に私が応答する方式で行われた。大変活発な意見があって、大いに盛り上がり効果的であったように思った。
2. 各RCに、過去の情報委員会に代わって、研修委員会が ①研修リーダーの選任 ②研修委員会の役割 ③研修の為の教材の準備 ④地区からの支援などで研修の実を上げ、ロータリアンにロータリーの基本知識、クラブの歴史や活動方針、目的について定期的研修に会合を開き、ロータリーへの認識を深めることに務めた。また、「ロータリーの心と実践・改訂版」を作成した。
各RCでロータリアンに、ロータリーの真髄を伝えることで、よりよい人材を輩出するために、各ロータリークラブで具体的に取組もうではありませんか。
3. 地区の研修会に研修委員会から講師を派遣して、各クラブから参加される指導者の皆さんの研修に寄与した。例えば
 - ①地区チーム研修セミナー
 - ②会長エレクト研修セミナー
 - ③地区協議会
 - ④地区会員増強セミナー
 - ⑤地区ロータリー財団セミナー
 - ⑥合同地区委員会などの講師として皆さんのお役にたつように研鑽を積んだ。

3年間サブリーダー・委員の皆様には大変お世話になりました。
ありがとうございました。

クラブ奉仕部門

クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長	西村俊彦 (東大阪みどりRC)	委員	松尾浩一 (大阪南RC)
副委員長	東村高良 (大阪うつぼRC)	委員	堀隆 (大阪東RC)
副委員長	吉村昭 (大阪平野RC)	委員	林銑吉郎 (大阪東南RC)
		委員	齊城正之 (豊中-大阪国際空港RC)
		委員	山口尚志 (くずはRC)
		委員	松本正 (新大阪RC)

2011～2012年度前に2011年6月4日に大阪科学技術センターでいち早く増強セミナーを開催致しました。〈Renew the Spirit of Rotary〉というテーマで東京城南RCの松下昌夫氏に講演をして頂き其ののちクラブの増強に関する問題点や提案について、新会長、新増強委員長等とディスカッションを行いました。

副委員長が増強に関連した統計グラフについて資料を作成し出席者に配布させて頂きました。

8月の会員増強月間には、要請のあった4クラブには委員長と副委員長で卓話に伺いました。その中で「会員増強はクラブの存続にかかわる重大な要因だと」クラブ会長また増強委員長にお伝えしてまいりました。

その他 全国会員増強委員長セミナー (横浜)

地区委員研修セミナー

部門別協議会

地区協議会クラブ奉仕部門分科会

RI第3ゾーンロータリーコーディネータセミナー (博多)

本年度は最終引き継ぎ会を含めて7回の委員会を致しました。

一年間を振り返って

松本G～岡部G年度にようやく2660地区の会員減少が13年ぶりに止まった事がもっとも嬉しかった事ですが、まだまだ予断を許さない状況です。

今年度は副委員長また委員の活躍があったからこそ、うまく委員会が廻りました。

次期の東村委員長は更にこの委員会を素晴らしいものに作り上げる事を期待して総括と致します。

広報委員会

委員長 西口宗宏 (大阪アーバンRC)	委員 永井正美 (大阪城南RC)
副委員長 片山一步 (大阪帝塚山RC)	委員 林邦彦 (大阪西RC)
副委員長 中島武 (大阪堂島RC)	委員 平野誠治 (大阪西北RC)
	委員 松任保勇 (大阪中之島RC)

広報委員会は、地区全般に関する情報を発信するのが、基本的な役目です。特に、ガバナーのロータリーに対する思い、ロータリーに対する情熱を、会員の皆様にお伝えし、地区の発展を願う皆様のお手伝いをするのが基本です。今期は、「見直しをすすめ 新たな第一歩を」という岡部ガバナー方針で、次のような広報活動を行ってまいりました。

(1) マスメディアを通じた広報

昨年7月に、テレビ大阪との共同制作番組として放映させて頂きました「感染症ポリオ 残り1%の闘い」のDVDは、地区内各クラブ並びに、全国のガバナー事務所にお送り致しました。また、びわこ放送やテレビ青森でも放送されることとなり、ロータリーの公共イメージを高めるよう、普及に努めました。また産経新聞社（関西）に当地区専用の広報HPを作って頂いており、各クラブからの奉仕活動を掲載して頂くことができますが、データの数が、少ない結果になりました。

3月から、ラジオ大阪において、「あなたのそばにロータリー」という副題で、のべ10回のPR放送を行いました。ガバナー補佐8名の他、境代表幹事、高島GEにご出演頂きました。

(2) 震災関連奉仕活動の紹介

昨年秋の地区大会では、多くのクラブから奉仕活動の写真等を頂きました。NHKホールの1階で、寄せて頂いたデータを写真パネルにして、掲示させて頂き、PR活動をさせて頂きました。

(4) RI広報活動補助金

地区の広報活動に関連して、RIに対して、「広報補助金」を申請しております。今年度は、テレビ放映とラジオ放送で、補助金が認可されました。

(5) 新クラブ創立

岡部泰鑑DGの方針で、今年度は、新クラブ創立準備委員会が設置され、2011年12月に、新しく、「大阪アーバンロータリークラブ」が創立されました。当地区では初めて、朝7:30より例会を行うクラブです。

一年間を振り返って

皆様方の奉仕活動の蓄積が、ロータリーのブランドイメージを高めていくものです。今後とも、皆様の活動の記録を、ホームページ等で蓄積して頂き、ロータリー活動にお役立て下さいますよう、お願い申し上げます。

職業奉仕部門

職業奉仕委員会

委員長 長崎弘芳 (大東中央RC)

副委員長 中嶋進治 (大阪城東RC)

副委員長 庄野晋吉 (大阪RC)

委員 岡本雄介 (大阪大手前RC)

委員 木越正司 (大阪西RC)

委員 北川忠嗣 (東大阪東RC)

委員 松室利幸 (池田くれはRC)

委員 川面智義 (高槻RC)

委員 堀田修平 (枚方RC)

各クラブの職業奉仕委員長はクラブ内でロータリアンそれぞれが職業に対する高い倫理観をもって職業活動を行うための（研修と勉強会に有効なプログラムを）計画実行する事が大切な役割であると思います。その為の一助となるよう地区委員会活動を行うように努めると共に、岡部Gの方針にもある「職場体験学習」について各クラブに一定の理解を得られるような活動を実施しました。

1. 全クラブに活動計画と実施した活動についてアンケートをそれぞれ行いました。
2. 「出前授業」の推進と共に「職場体験学習」の意義や理解を得ていただくために2011年8月20日葉業年金会館にて、第1回クラブ職業奉仕委員長会議では大阪市教育委員会指導部 中学担当主任指導主事 田中節様より

「大阪市におけるキャリア教育の現状と課題」という題目で講演をお願いし「職場体験学習」についての一定の理解を得ていただけたと思います。

また前述のアンケートに基づき各クラブより本年度の活動計画発表を行い、他クラブの職業奉仕への取り組みを参考にさせていただきました。

【出席クラブ数 73RC (82RC中) 地区役員・委員含め93名参加】

3. クラブ職業奉仕委員長を中心とする卓話とフォーラムを10月の職業奉仕月間に実施していただきました。
4. 「職場体験学習」をより理解していただくために10月に「職場体験学習と職業奉仕」というプリントを全クラブ全会員に配布していただくようにメール配信しました。
5. ロータリーでは次年度への引継ぎが大切であるという観点から

2012年3月17日、科学技術センターにて、第2回クラブ職業奉仕委員長会議を今回初めて次年度委員長も共に出席していただき、前述のアンケートに基づき各クラブの活動報告発表をしていただき、本年度と次年度の引継ぎと、次年度委員長に実際に他クラブがどんな活動をしているかを直接聞ける場を作りました。本年度の反省と次年度への引継ぎ及び準備になる委員長会議を開催できたと思います。

【出席クラブ数 79RC (83RC中) 地区役員・委員含め135名参加】

一年間を振り返って

この一年間は年度活動方針に添って地区委員が一体となって活動することが出来ました。地区委員会への出席率もよく、委員長会議も多くのクラブに出席をいただき、岡部Gの方針の中にあつた「職場体験学習」についても、各クラブに一定の理解をいただけたものと思います。

なお、「職業情報の共有化」のテーマは、個人情報の開示の範囲など難しい問題もあり、今後も長期のテーマとして取り組まれ、地区へ提案して行くような方向で検討を続けていただければとおもいます。

また次年度も、新旧の引継ぎの意味で、継続して本年度・次年度が一堂に会するクラブ職業奉仕委員長会議を行ってほしいと思います。

神崎顧問と畑田研修委員そして8名の地区委員の皆様到最后までフォローいただき無事一年を終えることが出来ました。ありがとうございました。

社会奉仕部門

社会奉仕委員会

委員長 川上大雄 (大阪ユニバーサルシティRC)	委員 鍬田充生 (大阪天満橋RC)
副委員長 高田知彦 (大阪リバーサイドRC)	委員 横田 聡 (摂津RC)
副委員長 西宮富夫 (箕面RC)	委員 山本光二 (交野RC)
	委員 御前 治 (千里RC)
	委員 脇 隆俊 (大阪御堂筋RC)
	委員 滝川博嗣 (門真RC)

本年度は東日本大震災での被災地への支援を地区として全力を挙げるという岡部ガバナーの号令のもと、災害支援プロジェクトをいかにバックアップするかということを当委員会の使命と考えた。

まず、私たちが考えたことは、大阪の人は東北の現状をあまり知らない。情報はテレビ等のマスコミからの情報しかない。これは裏返すと現地での生の情報、被災地の本当に必要としている事、物が認識できないということに気づき、これを解決するには、被災地の各クラブと情報交換の必要性、また実際に被災地に出向き、現状を目の当たりにすることが重要と考えた。そこで当委員会として“東北へメイクアップに行こう”キャンペーンを繰り広げた。

また、委員会として2520地区復興支援特別委員会との合同会議を仙台で開催し、被災地の現状認識、連携を推し進めた。

一年間を振り返って

被災地支援は支援内容も刻々と変化し、まだまだやらなければならないことがいっぱいある。その中で地区ロータリアンへの支援へのモチベーションをいかに下げないかが、今後の課題である。

新世代奉仕部門

新世代合同委員長会議

議長 大谷 透 (大阪西南RC)
副議長 高島 凱夫 (大阪中之島RC)

議員 新庄 幸一 (枚方RC)
議員 梅澤喜八郎 (東大阪西RC)
議員 奥田 吾朗 (大阪RC)
議員 野村 正勝 (箕面千里中央RC)
議員 牧尾 晴喜 (大阪ネクストRC)
議員 岸上 億則 (千里メイプルRC)
議員 武島 秀吉 (大阪御堂筋RC)

新世代奉仕部門正副委員長会議の開催

日時：2011年10月8日 (土)
場所：財団法人大阪科学技術センター

秋のRYLA開講式に合わせてクラブ新世代部門正副委員長会議を開催し、昨年度（海沼美智子アジア担当エリアコーディネーターを講師として招待し、cross promotion を強調）に続き今年度も新世代部門4委員会（青少年活動・ローターアクト・青少年交換・インターアクト）合同のワークショップを開催する事とし、地区研修委員新世代担当の西上博幸委員を中心に実行する事を決めた。

新世代奉仕部門合同ワークショップ

日時：2012年5月26日 (土)
場所：大阪YMCA会館 2階講堂

地区研修委員会新世代担当の西上博幸委員の主導で開催した。当日はR1第3ゾーン、アシスタント・コーディネーターの第2680地区2007-08年度ガバナー：三木明氏に基調講演をお願いし、新世代奉仕について細部にわたるご講演を頂き、R1において規定された新世代奉仕というものを深く理解することが出来た。

4委員会の委員長と委員長予定者、また各委員会の若者組織（チームライラ、ローターアクト、ROTEX、インターアクト）代表によるパネルディスカッションで4委員会の連携を深める事の長所が語り合われたことは、第2660地区の新世代奉仕部門が、共に奉仕活動をより深めてゆくためのモチベーションを刺激する成果があったと思われた。

一年間を振り返って

各委員会の委員長もそれぞれが忙しく、新世代奉仕部門合同委員長会議としては一度も開催することが出来なかった。

青少年活動委員会

委員長 新庄幸一 (枚方RC)
副委員長 二上寛弘 (大阪帝塚山RC)
副委員長 丸尾照二 (大阪御堂筋RC)
副委員長 植田昌克 (大阪北RC)
委員 角本浩一 (大阪城北RC)
委員 井上嗣仁 (大阪中央RC)
委員 石川益三 (大阪難波RC)

委員 岡村雄二 (大阪大淀RC)
委員 西本健二 (吹田江坂RC)
委員 井上善博 (東大阪みどりRC)
委員 松本晴充 (大阪中央RC)
委員 澤村榮一 (豊中千里RC)
委員 松井研次 (大阪東南RC)
委員 庄司修二 (箕面RC)
委員 古山柄博 (千里メイプルRC)

1. ライラ (Rotary Youth Leadership Awards : 青少年指導者養成プログラム)

(1) 初級ライラ ホストクラブ：東大阪みどりRC (秋のライラ)

日時：2011年10月8日(土)～10日(月)

場所：開講式 財団法人大阪科学技術センター

研修 大阪府立少年自然の家

参加数：32名 登録数：606名

(2) 上級ライラ ホストクラブ：東大阪みどりRC

プレキャンプ 日時：2011年10月8日(土) 10時～12時

場所：大阪府立少年自然の家

上級ライラ実施 日時：2011年10月8日(土)～10日(月)

場所：大阪府立少年自然の家

参加数：3名

(3) 初級ライラ ホストクラブ：箕面RC (春のライラ)

日時：2012年5月3日(木)～5日(土)

場所：勝応寺 応頂閣

参加数：44名 登録数：508名

2. 少年少女ニコニコキャンプ

ホストクラブ：吹田江坂RC

日時：2011年7月30日(土)～8月1日(月)

場所：舞洲スポーツアイランド ロッジ舞洲

参加数：60名 登録数：578名

3. 正副委員長会議

(1) 第1回正副委員長会議

日時：2011年10月8日(土)

場所：大阪科学技術センター

参加数：80名

4. 国際ライラ・ローターアクト大会への派遣

今年度はローターアクト世界大会に田原至(大阪西RAC)、堀内梨花(大阪御堂筋RAC)、木村悠太郎(関西大学RAC)3名を派遣しました。

会員委員でマナー

(OR西福大) 藤 共 彦 員 委	(OR西福大) 瀬八喜太郎 員 委
(OR東大) 星 麻由一 員 委	(OR東大) 介 大田 永 員 委
(OR山梨大) 奥 本 大 員 委	(OR北福大) 堀一基木 員 委
(OR大谷大) 千 藤 川 中 員 委	(OR福大) 久 幸 田 尚 員 委
(OR北福大) 花 瀬 中 田 員 委	(OR福大) 近 谷 田 航 員 委
(OR南大) 岡 藤 本 山 員 委	
(OR北福大) 保 文 聖 田 尚 員 委	
(OR北福大) 菅 藤 野 久 員 委	

新世代部門ワークショップの開催

日 時：2012年5月26日（土）

場 所：開講式 大阪YMCA会館

新世代部門4委員会（青少年活動・ローターアクト・青少年交換・インターアクト）合同のワークショップを大谷担当PGの下、研修委員会 西上担当委員の主導で開催しました。当日はRI第3ゾーン・アシスタントロータリーコーディネーター第2680地区2007-08年度ガバナー 三木明様をお招きして、新世代奉仕について細部にわたるご講演を頂き、RIにおいて規定された新世代奉仕というものを深く理解することが出来ました。

4委員会の委員長と委員長予定者、また各委員会の下に組織されたチームライラ、ローターアクト、ROTEX、インターアクトの代表によるパネルディスカッションで4委員会の連携を深める必要が述べられたことは、第2660地区の新世代奉仕部門が、奉仕活動を深めてゆくきっかけとなったと思えました。

一年間を振り返って

継続性のある青少年活動委員会において、5年前のDLP導入と同時に、多くの委員が増えました。その中の一人が私でした。翌年より同時に委員会に参加した方が、次々と委員長となられ、委員会の流れが毎年変化する中、諸事情により前任者が在籍しない委員会運営となりましたが、ニコニコキャンプについては、前年ホストの担当として経験があったこと、また秋のライラについてもホスト決定時から、次年度段階で前任者と引継ぎが出来ており、スムーズな事業展開ができたと自負しております。春のライラにおける、箕面ロータリーの取組、ホスト運営ノウハウは以後のライラをホストしてゆくクラブのガイドブックとなるようなものが出来たのではないかと思います。

また、引き継がれずに5、6年放置されていた、ホスト依頼のガイドブックも改定し、次年度以降に引き継ぐことが出来ました。

ご指導、ご協力いただいた皆様に心より感謝して報告といたします。

ローターアクト委員会

委員長 梅澤喜八郎 (東大阪西RC)
副委員長 永田 大介 (池田RC)
副委員長 清水雄一郎 (大阪北RC)
副委員長 横田 孝久 (東大阪RC)
副委員長 池田 佳弘 (大阪梅田RC)

委員 油井 滋 (大阪西南RC)
委員 一由 麻里 (東大阪東RC)
委員 大水 勇 (大阪帝塚山RC)
委員 中川 順子 (大阪ネクストRC)
委員 田中 隆弥 (池田くれはRC)
委員 山本 和良 (大阪南RC)
委員 前田 要之助 (大阪東淀ちゃやまちRC)
委員 久保 義誓 (茨木RC)

ローターアクトでは、活動の指針として毎年ターゲットを定めています。今年度は“情熱”を旗印に活動を進めてきました。2011年7月に行われた献血活動、地区連絡協議会を皮切りに、数々の地区行事を例年通り滞りなく全て終えることができました。これらの行事は、ホストをするローターアクトクラブが運営するのですが、地区役員も全ての地区行事に関わるので大変な苦労があったと思われまます。

また、2012年3月には新潟市で全国ローターアクト研修会が開催され、当地区からも役員をはじめとする多くのローターアクターがこれに参加し、他地区のアクターたちとの交流を深めることができました。

青少年活動委員会が主催するライラ、ニコニコキャンプも、ローターアクターたちが活動部隊として大いに活躍してくれました。

年度の終わり近くの6月に、念願であった東北支援をやっと実行に移すことができました。被災地のローターアクターたちとの共同奉仕という形をとることによって現地のローターアクトの活性化にも寄与したいという願いを込めたものです。

対象として第2520地区(岩手、宮城)を選び、気仙沼を訪れました。奉仕活動を行うとともに、同地区のローターアクターやロータリアンの方々とも交流を深めることができました。参加者たちはいろいろな意味で、一様に深い感動を覚えたようです。今回の彼等の経験はきっと今後につながっていくものと考えています。

今年度は青少年奉仕部門の他の委員会との交流がかなり実効性のあるものになったと思います。この流れを是非、来年度以降も続けていただきたいと思います。

一年間を振り返って

運営について改革したいと考えていて、なし得なかったことがいくつかありますが次年度に向けて、次年度委員長が既にいろいろとご配慮をされ、着々と策を練っておられますので、安心してバトンタッチができます。

未来を担う若者たちとともに有意義な一年間を過ごすことができました。ありがとうございました。

インターアクト委員会

委員長 奥田吾朗 (大阪RC)

副委員長 中野秀一 (大東RC)

委員 田中康正 (八尾RC)

委員 辻本友明 (大阪帝塚山RC)

委員 米田誠治 (大阪天王寺RC)

委員 米谷龍二 (大阪南RC)

委員 衣斐茂樹 (大阪RC)

今年度インターアクトクラブ (以下IAC) では、地区全体のテーマである震災をテーマとし、インターアクターにおいては、自主性、奉仕の精神の醸成と行動を身につけることを目的に活動し、ロータリアンはそれをサポートし、ともに地域貢献と国際奉仕活動を行いました。

1. マレーシア海外研修 (担当校 金光八尾中学・高等学校)

IACの目的とする奉仕、国際理解、指導力育成の3つの観点の中の特に国際理解と指導力 (リーダー) 育成に重きをおきました。8月4日から8日まで、マレーシアの中央部にあるタンピンで活動を行いました。

今年度の海外研修は、主に研修先 (国) のIACと奉仕活動を行いながら、親善および国際理解を深め、かつ、現地の企業 (日系企業および現地企業) の協力を仰ぎ、国際人としての素養を身に付けてもらいました。現在の日本とアジアを実感し、これからの日本とアジアを考えるための種を子供たちの思考に蒔く事を目的としました。具体的には、目的を「自分を知る。日本を知る。相手を知る。アジアを知る。」とし、以下活動しました。

1、現地の日本企業の方から、今回の目的に沿った話をしてもらい、意識付けをしてもらいました。

2、現地のIACと共に奉仕活動と国際理解活動を行いました。

国際理解活動は、先方のIACと2660地区のIAC各学校が以下の4点を事前に勉強し発表を行いました。(発表は英語)

① 自分の国の誇れるところ、自慢できること、喜べること

② 自分の国の悲しむべきところ、恥じる場所、改善すべきところ

③④ 相手の国について同様

3、お互いに準備をした歌や踊り、プレゼントなどを交換して、親睦を深めました。今回の研修を通して、生徒たちは、限られた時間の中で、現地のIACの生徒たちと素晴らしい交流を行いました。また、事前に得た知識と現地を訪問して得た経験から、国際というキーワードの種をしっかりと自ら人生というフィールドに植えてくれたと信じています。

また、準備の段階からの指導や、研修中にすべて英語で進行をしていただくなど、それぞれの学校の先生方にこの報告を通して改めて感謝いたします。

(協力 タンピンRC、コクヨ株式会社)

2. 年次大会（担当校 相愛中学・高等学校）

相愛中学高等学校で11月20日に開催されました。

震災のテーマの下、始めに各校のIACの素晴らしい活動の報告が行われました。続いてメンバーの代表取締役会長の辰野氏の講演を拝聴し、その後、消防局のスタッフから人工呼吸やAEDの使用方法などの人命救助を学びました。最後に、いざというときに役に立つロープの使い方を講演者である辰野氏から学びました。危機管理の基本は、自己責任であり、その基本と実践を学ぶいい機会となりました。終始、厳しさの中に笑顔あふれる素晴らしい年次大会となりました。

3. 活動誌「SCRUM#37」（担当校 清風学園中学・高等学校）

IACの活動誌SCRUM#37が発行されました。1年間の活動状況を40ページ位にまとめたもので、行事の概要をはじめインターアクターたちの感想も多数掲載されています。

4. 新入生歓迎会（担当校 相愛中学・高等学校）

6月3日に、舞洲スポーツアイランドで開催されました。学校は、4月から新年度が始まります。地区IACにとっての最初の行事として新しい仲間と共同作業を行い交流を深め、これからの1年のスタートを切りました。バーベキューや舞洲陶芸館での陶芸など充実した1日を過ごしました。

一年間を振り返って

私たち大人が思うよりも若者たちは強く、たくましく活動し、多くのことを吸収していきました。日本という孤立した島国から刻々と変化し続けている世界、現地に赴き、世界の変化を肌で感じさせることが今の日本の子供たちにはとても重要であると再認識しました。

ただ、毎年ロータリアンのIAC及び学校への理解を促す活動が必要であると感じました。また、IAC存続を意識した地区の理解が必要とも感じました。

青少年交換委員会

委員長 野村正勝 (箕面千里中央RC)	委員 岩佐 厚 (大阪心斎橋RC)
副委員長 金本恒二郎 (大阪天王寺RC)	委員 神田保廣 (摂津RC)
副委員長 濱谷和也 (東大阪RC)	委員 辻村和弘 (大阪大手前RC)
	委員 山本喬一 (大阪天満橋RC)
	委員 磯田郁子 (大阪東淀ちゃやまちRC)

青少年交換委員会は前年度に決めた派遣候補学生の学生(outbound students)を7、8月にそれぞれの国に送り出し、8月に受け入れ学生(inbound students)を大阪に迎えます。そして10月に次年度派遣の候補学生の選考会を行い決定します。その後、毎月、計9回のオリエンテーションを実施し最終月、翌6月にinbound studentsと次年度派遣学生(outbound students)の歓送会を開催し、担当年度のプログラムを終了することになります。勿論、毎月委員会を開催します。本年度は8名の学生を受け入れ7名の学生を派遣し、7名の学生を派遣候補生に選考しました。これらのことから青少年交換は単年度で終わるプログラムでないことに気付かれるでしょう。連続した活動なのです。以下に事業の実施状況を記載します。

8月20日(土) 来日学生のオリエンテーション、帰国学生報告会、歓迎会。

9月24日-25日(土、日) 一泊研修会：来日から約1ヶ月過ぎた頃にホームシック対策として2640地区、2680地区と合同で箕面国際観光ホテルにおいて研修会を行いました(毎年持ち回りにて3地区合同で行っている)。ROTEX(過去、青少年交換に参加したOB,OGの奉仕組織)のメンバーも参加して個別に問題点を洗い出します。詳細はガバナー月信2011年11月号をご参照ください。

9月30日(金) 次年度派遣候補生募集締め切り。

10月 8日(土) 次年度受け入れホストおよびカウンセラーのオリエンテーションを開催。

10月22日(土) 次年度派遣候補生選考会開催。第一回のオリエンテーションを行った。候補生が決まるとその希望を聞き、受け入れ地区を探し交渉を開始。

11月11日(金) 2660地区の地区大会にinbound studentsとoutbound studentsが参加した。

11月19日(土) 第2回オリエンテーション開催。

12月10日(土) 第3回オリエンテーションとクリスマス会開催(ROTEX主催)。

詳細はガバナー月信2012年2月号を参照ください。

1月21日(土) 第4回オリエンテーション開催。

2月11日(土) 日本文化体験(主にinbound students対象ですが次年度のoutbound studentsも参加して次年度の青少年交換の疑似体験を積む。ROTEX主催)。奈良を訪ねた。

2月18日(土)、3月10日(土)に第5、6回オリエンテーションを開催。

3月20日(火)-22日(木) 東京研修旅行を開催しました。

詳細はガバナー月信2012年5月号をご参照ください。

4月 8日(日) 神峯山寺で高槻西RCと座禅と茶会の日本文化体験と第7回オリエンテーション開催。Inbound students 対象ですがoutbound studentsもROTEXも参加して交

役員委員交換年少費

(2012年度) 委員長 藤田 雅之 (2012年度) 副委員長 藤田 雅之
(2012年度) 幹事 藤田 雅之 (2012年度) 幹事 藤田 雅之
(2012年度) 幹事 藤田 雅之 (2012年度) 幹事 藤田 雅之
(2012年度) 幹事 藤田 雅之 (2012年度) 幹事 藤田 雅之
(2012年度) 幹事 藤田 雅之 (2012年度) 幹事 藤田 雅之

流を進めた。詳細はガバナー一月信2012年5月号を参照ください。

4月20日(金)―22日(日) 広島研修旅行を開催しました。

5月20日(日) スピーチコンテスト: 例年6月に開催されますがinbound studentsの帰国が早い学生もあり少し早めて開催。2640地区や2680地区のstudentsも参加した。委員会のメンバーも参加しROTEXのメンバーが主催。日本語の上達ぶりに毎年感銘を受ける。異文化からの視点もきわめて新鮮。「お風呂では平気で裸になるのに海ではビキニ姿に怯む」のが私的には分からないと主張する女子学生シドニーさん(仏)が優勝。

5月26日(土) 第8回オリエンテーション開催。

6月23日(土) 第9回オリエンテーション開催。Inbound studentsとoutbound studentsの歓送会を開催。ガバナー一月信2012年8月号に詳細を記載しています。ご参照ください。

その他特記事項

カナダの7040地区からの受け入れ候補生は直前にキャンセルになりましたが、7040地区は摂津RCからの派遣候補生は受け入れてくれることになりました。その結果、関東地区からのシドニーさんを摂津RCが代わりに受け入れてくれました。それから台湾のフ・ミエンさんは高槻西RCが派遣なしに受け入れられました。受け入れ学生と派遣学生の数的一致しないのはこのためです。それから2名のinbound studentsが4月、5月に帰国しました。

一年間を振り返って

青少年交換はなかなか忙しい委員会ですが、高校生が見違えるようになって帰国してくるのを見るのは他で味わえない貴重な体験です。

国際奉仕部門

国際奉仕・WCS委員会

委員長 古澤照明 (豊中RC)
副委員長 石田 秀 (大阪西南RC)
副委員長 吉田政雄 (茨木RC)

委員 栗原 大 (大阪フレンドRC)
委員 小林 哲 (吹田西RC)
委員 上場俊哉 (高槻東RC)
委員 糸川千恵子 (大東中央RC)
委員 辻 正次 (豊中RC)
委員 白方誠彌 (大阪-淀川RC)
委員 大竹洋一郎 (門真RC)

今年度は被災地向けの支援を中心に行う予定でしたが、災害支援プロジェクトが機能したので急遽、前年同様の海外向けMGにシフトしましたが、なんとか前年並みの11クラブからの申請があり、またDDF使用状況も予算65,000ドルに対して62,550ドルの使用があり、当初の計画に近い金額で収まりました。タイの洪水支援には小学生にカバン、下着、文房具をセットにし2,325セットをマッチング・グラントで実施しました。また東北地方の災害復興支援の為のMGの申請もあり、いろいろな方面への支援が出来たと思います。

クラブ委員長会議を2回実施しましたが、まだまだ徹底する事が多くあり、今後もニュースレターでの広報が必要であると感じました。

次年度からFVPの準備段階に入りますので、国際奉仕委員会としてクラブ委員長にどの様に理解して貰うかを考えて行かなくては成らないと思います。

一年間を振り返って

東北震災支援、カンボジアの貧困地区に蚊帳2,000張を寄贈、タイの洪水支援等ある程度WCS活動が出来たと思いますが、クラブ委員長には大変戸惑わせた事が反省点です。1年間皆様には大変お世話になり、有難うございました。

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会

委員長 福家 宏 (八尾中央RC)

副委員長 溝畑 正信 (東大阪東RC)

委員 杉村 雅之 (大阪中之島RC)

委員 岸上 億則 (千里メイプルRC)

委員 牧尾 晴喜 (大阪ネクストRC)

委員 川田 隆 (八尾RC)

【情報収集活動】 以下の会合に出席

2011/6/30 ロータリー財団地域セミナー (東京)

2011/7/23 第2770地区 (パイロット地区) 奉仕プロジェクト合同部門セミナー (埼玉)

2011/11/23 ロータリー財団地域セミナー (大阪)

2012/3/20 ロータリー・コーディネーター・セミナー (東京)

2012/4/25 ロータリー財団ゾーン会議 (副委員長出席) (東京)

【情報提供活動】

2011/3/19 PETS

2011/4/23 地区協議会、部門別協議会

2011/8/27 地区財団セミナー

その他の活動として、財団部門各委員長や副委員長が地区内の多数のクラブで卓話を通して情報提供活動を行った。

昨年度に引き続き、今年度も東日本大震災被災地区、岩手県沿岸南部教育事務所管内の教育委員会などと連絡を取り合い、地区災害支援プロジェクト (委員会) とともに現地のニーズに的確に応えるような奉仕活動の支援を実施した。

一年間を振り返って

本来の財団委員会の職責を果たすと同時に、災害支援への取り組みや2013-14年度から実施の新しい補助金システムに向けて準備を進めるなど、災害支援プロジェクト (委員会) やFVP委員会と協力しながら進めて来たが、課題の多い一年間であった。

財団情報・増進委員会

委員長 杉村雅之 (大阪中之島RC)

副委員長 今西敦之 (八尾RC)

委員 鈴木 肇 (大阪船場RC)

委員 吉岡康雄 (大阪西北RC)

委員 木村芳樹 (大阪南RC)

委員 溝手敦信 (大阪東RC)

○実施報告

- 2011年 8月27日(土) 地区財団セミナー 於：大阪YMCA会館
- 2011年10月22日(土) 第1回財団FVPセミナー 於：大阪YMCA会館
- 2012年 1月14日(土) 第2回財団FVPセミナー 於：大阪YMCA会館
- 2011年11月12日(土) 第2660地区 地区大会 於：NHK大阪ホール
友愛の広場にてパネル展示
- 2011年11月 ロータリー財団月間
財団の活動を理解して頂くため、卓話依頼のあったクラブにて、卓話を実施

一年間を振り返って

活動方針に則り一年間活動し、掲げていた地区募金目標を達成できるように皆さんに協力をお願いした。また、ロータリー・カードの普及についても併せてお願いした。

次々年度から導入のFVPについても、理解を深めてもらえるように努力した。

財団奨学金・学友委員会

委員長 牧尾晴喜 (大阪ネクストRC)

副委員長 北 登 (東大阪東RC)

副委員長 入船禎三 (大阪東RC)

委員 三好えり子 (大阪そねざきRC)

委員 阪上博史 (茨木東RC)

委員 水谷治人 (守口RC)

委員 岸本和久 (大阪城東RC)

委員 寺崎正也 (大阪城北RC)

委員 吉城直孝 (東大阪RC)

委員 小森敏鑑 (大阪南西RC)

(1) 2012-13年度の国際親善奨学生候補者のためのオリエンテーション

2011年9月、2012年3月、同6月、合計3回のオリエンテーションを開催した。4名の奨学生候補者にとっては、ロータリー活動や日本文化について体得できるとともに、国際親善奨学生としての留学準備を進めるうえでの疑問点を解消できる機会となった。

(2) 国際親善奨学生の選考 (2013-14年度)

FVP制度への移行に伴い、新制度下でのプログラムについて検討した。例年は3月に募集をしているが、今年度は移行準備につき奨学生募集を実施しなかった。

(3) 世界平和フェローの募集・選考

世界平和フェローの募集について、地区内の全クラブ宛に案内を送付するとともに地区ウェブサイトでも告知を行ったが、今年度は該当する応募者がいなかった。

(4) 財団学友の活動支援

各オリエンテーションと同日開催の懇親会について、該当する(直前の)帰国奨学生の帰国歓迎会・報告会として実施した。また、東京在住の財団学友(渋谷敦志君)の来阪とのタイミングがあった懇親会(GSE委員会、米山奨学委員会との合同忘年会)では、財団学友の近況報告として本人の近著『ファインダー越しの311』の報告があった。

(5) 財団奨学生制度の啓蒙とPSC活動の広報

11月の財団月間には、地区委員長および財団学友を要望のあったクラブの卓話に派遣し、財団奨学生制度の啓蒙およびPSC活動の広報を行った。

上記(2)については、年度内に奨学生募集を実施する、あるいはしない、と方向性が二転三転した。当委員会だけでなく、まずはFVP委員会、また、ロータリー財団委員会の大きな枠組みでの検討が必要であるという結論にいたっている。

一年間を振り返って

各委員の積極的な協力により、一致団結して諸々のイベントを開催・実施することができた。若い奨学生とともに活動する機会も多く、あらゆる委員会行事は和気あいあいとした雰囲気であった。

研究グループ交換委員会

委員長 岸上億則 (千里メイプルRC)

副委員長 田中義久 (大阪西RC)

委員 米田 真 (豊中RC)

委員 田邊 司郎 (寝屋川RC)

委員 松本 浩一 (大阪北RC)

委員 川本 典美 (大阪ネクストRC)

委員 今西 良介 (大阪南RC)

委員 品川 芳洋 (八尾東RC)

スリランカチームの受入は昨年度の3月の予定であったが、東日本大震災の影響で一旦は中止と決まった。しかし、スマトラ地震を経験しているスリランカチームは、福島原子力発電所事故の風説をものともせず、来阪を希望してくれた。

時期はずれたものの、平成23年10月にスリランカチームの受入が決定し、平成24年3月は予定通り、第2660地区のスリランカへの派遣が行われた。

スリランカ受入時期の変更により、スリランカチームの団長と1名の団員の変更があり、しかも男性から女性への変更ということで、ホストファミリーの依頼や、職業研修のプログラムで大いに影響はあった。

各IMごとに受入実行委員会が開催され、通常より1~2回多めの開催であったが、各週それぞれの調整のもと、無事予定をこなすことができた。

GSEプログラムは本地区においては「桜の時期」が原則であったが、今回は「紅葉の時期」に受入を行うことになったのであるが、その為にスリランカチームに「地区大会」や「ロータリー研究会」にも参加してもらうことができた。が、地区大会の秒刻みのプログラムには、時間におおらかなスリランカチームの団員は大いに驚いていたようである。

なにはともあれ、各クラブの協力のもと、無事に終了することができた。

その他の特記事項

次年度はハンブルクとの交換が決まっており、それに向けての準備も始まっている。さらに、FVPに基づき、再来年度にはGSEプログラムが廃止となることが決まっている。

基本的には、GSE委員会の役割は終了することになるのであるが、新たに始まるVTTプログラムの受け皿としてGSE委員会の役割を様々な角度で検討していく必要がある。

まずは来年度の目標としてハンブルクとの交換を成功させること、さらにFVPプログラムのスムーズなスタートに協力することが、課題となるであろう。

この一年を振り返って

RCの活動単位は、各クラブであるのが原則である。しかし、GSEプログラムは、地区内のロータリアンがクラブの枠を超えて協力し合う唯一のプログラムである。だから、毎年GSEプログラムの最終事業である送別会では、海外の団員との惜別の情もさることながら、めったに会わない他クラブのメンバーとの協力の成果という「達成感」で大いに感動するのだと思う。

いずれにしても、今回は様々なハプニングの中での活動であったが、陰に陽に協力いただいたロータリアンの皆さまには多大なる感謝の辞を申し上げたいと思う。

財団法人道的補助金委員会

委員長 川田 隆 (八尾RC)

副委員長 和氣 主 (大阪北梅田RC)

副委員長 吉川 仁育 (大阪なにわRC)

委員 五味 千秋 (大阪心斎橋RC)

委員 樋口 信治 (大阪RC)

委員 鴻池 一季 (大阪北RC)

委員 廣瀬 譲 (豊中南RC)

委員 長屋 興 (吹田西RC)

委員 紙谷 正行 (吹田RC)

1) 委員会：定例委員会を奇数月に各1回ずつ、計6回開催した。

2) 補助金審査会：委員会同様、奇数月に各1回ずつ、計6回開催した。

また、東日本大震災復興支援の緊急性に鑑み、Eメールを活用した臨時審査を随時行った。

3) DSGサポートシステム：

地区補助金の申請書作成にあたり、例年より行っている申請前の申請書作成やプロジェクトに関するアドバイスを担当者制（委員会より月替わりで常時2名選出）とすることで、よりスムーズに審査へ導き、かつ委員会全体のスキルアップを図った。

各種セミナーや個別の卓話においては、未来の夢計画（Future Vision Plan）への移行を踏まえ、各クラブの奉仕事業担当者が現行制度と混乱せず、シンプルにご理解いただけるよう心がけた。

国際奉仕委員会、社会奉仕委員会と連絡を密にし、財団法人道的補助金の活用による奉仕事業の活性化を図った。

一年間を振り返って

東日本大震災の復興支援が大きなテーマとなった年度であり、刻々と変化する状況と制度に追従し、広報する事に終始した一年であった。

財団FVP(未来の夢計画)委員会

委員長 福家 宏 (八尾中央RC)

副委員長 宮里 唯子 (茨木西RC)

委員 溝畑 正信 (東大阪東RC)

委員 四宮 孝郎 (大阪西南RC)

委員 川田 隆 (八尾RC)

委員 辻川 功一 (大阪中央RC)

【情報収集活動】以下の会合に出席

2011/6/30 ロータリー財団地域セミナー

2011/7/23 第2770 (パイロット地区) 奉仕プロジェクト合同部門セミナー

2011/11/23 ロータリー財団地域セミナー

2012/2/18 第2650地区 (パイロット地区) 財団補助金管理セミナー

2012/3/20 ロータリー・コーディネーター・セミナー

2012/4/25 ロータリー財団ゾーン会議 (副委員長出席)

2012/5/7 ロータリー国際大会「未来の夢計画ワークショップ」その他

【情報提供活動】

2011/3/19 PETS

2011/4/23 地区協議会、部門別協議会

2011/8/27 地区財団セミナー

2011/10/22 第1回地区財団 FVPセミナー

2012/1/14 第2回地区財団 FVPセミナー

その他の活動として、ガバナー補佐エレクト会議でのFVP情報提供 (2回) を行った。また委員長や副委員長が地区内のクラブで卓話を通して情報提供活動を行った。

その他特記事項

今年度はFVPのパイロット期間2年目である。パイロット地区における職業研修チーム派遣や奨学金プログラムは、手続き上困難な部分があって順調には進んでいないが、今年度末にはロータリー財団より新しい指針が提示される見込みである。現在はロータリー財団管理委員会も試行錯誤を続けているものと推察出来る。

●奨学金についての規定は2012年6月中に変更が加えられる予定で、当地区での奨学金やVTT (職業チーム研修) についてのルール作りはその後に実施の予定。

一年間を振り返って

当委員会がFVPに関する新しい情報を収集し、それを理解した上で当地区に相応しい形で新しい制度を活用するための協議を続けているが、2013-14年度からの委員会構成などの決定は容易では無く、今後も慎重に続けなければならない。地区内ロータリアンにFVPの理解を深めるための方策についても考えて行く必要性が感じられる。

米山奨学部門

米山奨学委員会

委員長 武島秀吉 (大阪御堂筋RC)	委員 和田武彦 (大阪梅田東RC)
副委員長 田中真人 (大阪北RC)	委員 榊原春枝 (大阪柏原RC)
副委員長 西谷雅之 (大阪城南RC)	委員 河内幸枝 (吹田RC)
副委員長 吉田悦治 (大阪大淀RC)	委員 福田治夫 (守口イブニングRC)
委員 中川和之 (大阪船場RC)	委員 西邨智雄 (香里園RC)
委員 小山義之 (大阪鶴見RC)	委員 近藤菜穂子 (大阪ネクストRC)

各クラブ米山委員長、カウンセラーのみなさんと共に、米山奨学生のサポート役として地区全体の諸問題に向き合い、米山という括りの中であらゆる事にチャレンジし、未来のロータリーへの変革を目指すことを活動の軸に据え活動してまいりました。

また、具体的な活動は、小委員会制を中心に、例年のスケジュールはもとより、新しい試みも行いました。

各小委員会毎に紹介します。

吉田小委員会：吉田悦治副委員長 (大阪大淀RC)

交流活動小委員会メンバー

(小山義之 大阪鶴見RC、榊原春枝 大阪柏原RC、河内幸枝 吹田RC)

地区内各委員会との交流やRC以外の他組織との交流

・米山梅吉翁墓参りは9月23日、24日の一泊で参りました。

梅吉記念館の見学後、すぐ近くにある梅吉翁の墓参をし、心新たに米山奨学金制度の精神を更に深めることができました。

参加者は、武島、田中、吉田、河内、近藤、榊原、福田、西村、磯田の9名。

・地区内委員会パーティは、各地区委員会の委員長同士のコミュニケーションを取りたいとの思いから二回程行いました。岡部ガバナーを始めパスト・ガバナーの皆様にも参加頂き、色々の意見自由に聞くことが出来る空間が出来ました。

下記の事業は例年通り行いました。

- ・新旧合同委員会
- ・クラブ委員長カウンセラー研修会
- ・新奨学生オリエンテーション

田中小委員会：田中真人副委員長 (大阪北RC)

広報活動小委員会メンバー

(有竹正巳 大阪東RC、西邨智雄 香里園RC、近藤菜穂子 大阪ネクストRC)

地区内はもとより、広く一般世間にも活動内容を告知して行く事をこの小委員会では行っていたべくよういたしました。

- ・広報の有り方を考慮しましたが、R12660地区米山校友会のFACEBOOK上での告知版が出来、一般の方にもその存在を知らしめる一端となっているかと考えます。
- ・各大学担当者との会合は、新しい担当者も多かったので、米山奨学金制度の説明と、我々の思

会員委員会大会開催

(OJ南関東大) 文部賞南 委員

(OJ南関東大) 櫻島 委員

(OJ南関東大) 佐野本 委員

(OJ南関東大) 三倉 委員

(OJ南関東大) 一瀬 委員

いなどを、丁寧に教えることが出来たと思います。

- ・ 歓送会の内容と手配は、ハイアットリージェンシーにて、奨学生の話を中心にした進行にしました。また、スピーチコンテスト優勝者にも、スピーチをして頂きました。
- ・ スピーチコンテストの開催は、昨年に引き続き2月に行いました。今年度も大変優秀なスピーチが多く、流石に米山奨学生の実力を垣間見た気がしました。

西谷小委員会：西谷雅之（大阪城南RC）

親睦活動小委員会メンバー

（和田武彦 大阪梅田RC、中川和之 大阪船場RC、福田治夫 守口イブニングRC）

メンバー内の親睦を深める活動奨学生との親睦活動を中心に行う小委員会で、あらゆる機会に懇親を深めることが出来ました。

- ・ かつての地区米山委員会メンバー終了生の同窓会を、地区大会前日に行い、台湾の嘗て米山奨学生や、東京米山友愛の会長、また現在の奨学生も交え行うことができました。
- ・ 新旧合同委員会懇親会内容と会場は例年通り行いました。
- ・ 宝塚リクレーション懇親会は、私の知人で嘗ての宝塚トップスターに来ていただき、色々なエピソードを交え宝塚の裏側などを、楽しく伝えて頂きました。また、奨学生にも参加の感想などを語って頂き、有意義な時間を過ごすことが出来ました。
- ・ 中国、台湾、韓国学友会訪問は、結局台湾の総会に訪問し、米山奨学生が、いかに現在の台湾で活躍しているかを現場で見ることができ、より一層米山の大きな影響力を感じて帰国いたしました。

幹事団（新入メンバー）

運営幹事 西邨智雄・会計幹事 河内幸枝・書記幹事 近藤菜穂子・記録幹事 福田治夫で、委員長の幹事役をお願いしておりましたが、個性の強い方が多く、私の方が幹事役になったような一年間でありました。

また、委員会のメンバーのクラブにメイクアップと卓話に回りました。おかげで、クラブによって様々な問題があり、米山についても温度差があることを実感いたしました。

更に、ガバナーを中心に地区委員長との連携がもっと図れる仕組みを作れば、地区の活動と各クラブの活動の有用な連携プレーが出来ると感じました。

最後に、ガバナー事務所の方には、大変お世話になり、有り難かったです。特に、栗正さんには、何かとお世話になり、衷心より御礼申し上げます。

地区大会実行委員会

委員長 光信昌明 (大阪城南RC)

副委員長 岡倉三郎 (大阪城南RC)

副委員長 野崎瞭一 (大阪東南RC)

幹事 南賀勝之 (大阪城南RC)

副幹事 福本保治 (大阪城南RC)

開催日 平成23年11月11日(金)・12日(土)

開催場所 一日目 シェラトン都ホテル大阪

二日目 NHK大阪ホール

ホストクラブ 大阪城南RC、コ・ホストクラブ 大阪東南RC

RI会長代理として、2770地区PG 中村靖治様ご夫妻をお迎えして、多数の参加者を得て盛大に開催することができました。

岡部泰鑑Gの方針である「見直しをすすめ 新たな第一歩を」大会運営に反映させるべく、一日目は「ロータリーの原点」、「理想の米山奨学生像を探る」「入会三年未満会員の新人研修」、「家族の集い」、夜には晩餐会を実施致しました。

二日目には、式典の後に中村RI会長代理の講話、岡部Gが東日本大震災の地を訪れた時の映像「今こそ ところをひとつに」、中西輝政京都大学大学院教授の基調講演等を通じて、ロータリアンが今できることを考える機会を提供致しました。

友愛の広場では、一日目は米山奨学生・学友会(関西)によるお茶サービスで会員相互の親睦を図り、二日目は地区委員会の活動報告等を実施致しました。詳しくは、活動報告書をご覧ください。

未曾有の東日本大震災発生後、開催に踏み切り、ロータリークラブとして意義ある大会にすることができたのも、皆様の地区活動へのご理解とご協力を頂いた結果と感謝しております。

一年間を振り返って

大震災の年の地区活動のメインイベントである地区大会開催を仰せつかり、我々委員は、意義ある大会にすべく全身全霊を傾注致しました。会員の皆様方の今後のロータリー活動の一助となることを祈念しております。

ロータリーの友

地区代表委員 上 敏郎 (大阪城南RC)

年初の活動方針、活動計画に準拠して行動した。

1. 「見直しをすすめ新たな第一歩を」(本年度の地区の方針)、を基本に「友」に関する情報をガバナーと共有することに努めた。
2. 「友」の編集部からは『友』の読後感といくつかの設問に対して毎月レポートを要請された。読後感については記事の内容に固定せず、装丁や広告、文字や写真の大きさなど、雑誌そのものについて気づいたことを提言した。
3. 「友」をもっと読んでいただく施策として、クラブの会長・役員が率先して「友」の話題を例会で取り上げて欲しいと、あらゆる機会を通じて訴えた。
4. 地域からの情報発信についてはこれまでから活発であったので自然体にまかせた。当地区は他地区に比して少人数のクラブが多いという特徴がある。そこで、直近で合併をした2クラブに焦点を当て合併後のクラブ運営について情報の発信を依頼した。
5. 周年記念を迎えるクラブからの情報発信を企画したが残念ながら追跡できなかった。
6. 「友」の電子版については、電子版用の「友」を新たに編集するという意見もあるとも聞いたが、当面は現行の「友」のヨコ組みを、そのままWEBに貼り付けることで試行すべきであるとの意見を述べた。
7. 「友」の事務所も一般社団法人として3年を経過したが、運営にはあまり変化が感じられなかった。編集委員のコメントは出版後に行われるので意見が反映されているかどうかははかれなかった。年度の途中で委員の呼称から編集という文字が消えた。その規定の改正は唐突かつ稚拙であると感じた。
8. この一年を通して、全国の委員の方々と雑誌「友」だけでなくロータリー全般にわたり意見を交換する機会を得たことは貴重で大変勉強になった。
9. 委員は一年で大半が入れ替わる。編集部はそのまま継続するベテランである。新人とベテランという組み合わせが繰り返されるスキームは委員会が形式的なものに流れやすいと思う。R地域雑誌として広くロータリアンに親しまれる「友」として進化するために、この構図を見直す必要を強く感じている。

財務委員会

委員長 梅崎 道夫 (大阪城南RC)

委員 田中 昌之 (八尾RC)

委員 嶽下 勇治 (大阪中之島RC)

会計 井上 裕貴 (大阪城南RC)

本年度は、予算作成の段階で、これまでの地区資金決算内容に鑑み、「地区運営資金」への資金配分を一人当たり9,500円から10,000円に増額し、「地区活動資金」では、一人当たり7,500円から7,000円に減額しました。

【決算概要】

1. 地区運営資金

① 収入の部

「地区運営資金」の収入予算は、会員数を3,700名との前提で予算組みをし、ほぼ予算通りの収入実績となりました。これにR1助成金、ガバナー月信購読料等の雑収入を加えて、予算総額39,600,000円に対し、実績は39,494,684円となりました。

② 支出の部

関係者皆様のご協力により、予算計上した総額の範囲内で収まりました。「B. 会議費」のなかの「1. PETS・地区チーム合同セミナー」と「3. 財団セミナー」のみ予算を超過しましたが、大科目間流用により対応することができました。支出総合計は、予算の41,670,000円に対し、40,810,336円となりました。

③ 収支差額と繰越金

予算では、収支差額をマイナス2,070,000円見込んでおりましたが、実績はマイナス1,315,652円に収まり、次期繰越金は25,391,094円でした。

2. 地区活動資金

① 収入の部

「地区活動資金」の予算25,900,000円に対し、実績は25,936,750円で予算を若干上回りました。今年度は地区協議会でご承認を頂き、特別にポリオ広報活動協力金を計上しました。予算5,550,000円に対し4,738,590円の協力金を各クラブから頂きました。以上の結果、収入合計では、31,450,000円の予算に対し、実績では、30,675,340円となりました。

② 支出の部

「A. 地区委員会活動費」は、各委員会の協力により、予算総額32,817,000円の範囲内で収まりました。「8. ロータリー財団部門」の「ロータリー財団(委)」のみ予算を超過しましたが、FVP関連の会議を開催せざるを得なかったためです。予算超過に際しては、予備費申請書を提出頂き、適正に処理しております。「C. IM広報活動補助金」「D. 研修委員会」の支出も含め、支出総額は35,417,000円の予算計上額に対し、実績は30,637,865円となりました。

③ 収支差額と繰越金

収支差額は、予算ではマイナス3,967,000円でしたが、実績では逆に、プラス37,475円となりました。その結果、次年度繰越金は31,765,442円となりました。

3. 特別会計

① 地区大会資金

地区大会記録誌の収支報告にあるとおり、地区大会実行委員会のご努力により、次年度繰越金として9,318,346円残すことができました。

② 米山奨学生生活動費

「米山奨学生生活動費」は、(財)米山記念奨学会からの補助金と登録料で運営され、本年度は米山活動費の支出合計が収入合計を若干上回ることとなりました。不足分は「地区活動資金 米山奨学部門」から補填しました。次期繰越金はございません。

③ 世界社会奉仕基金

前年度繰越金1,773,151円をカンボジア、タイでの洪水災害支援に使用し、次年度への繰越金は682,344円となりました。

④ RI規定審議会派遣積立金

予算通り、200,000円を「地区活動資金」から繰り入れました。その結果、次年度繰越金は1,254,400円となりました。

⑤ ロータリー研究会準備基金

松本年度で、すべての準備基金がロータリー研究会へ送金済みとなりましたので、本年度での計上はありませんでした。次年度繰越金もございません。

⑥ 危機管理積立金

「危機管理積立金」を特別会計としました。本年度では、「地区活動資金」から新たに500,000円繰り入れました。次期繰越金も500,000円です。

4. 地区基金

本年度での新たな繰り入れ、取り崩しはなく、15,000,000円をそのまま次年度へ繰り越します。

【まとめ】

地区資金収入が、会員数の減少により減少する中、各委員会をはじめ関係各クラブ・会員の皆様が率先して緊縮予算にご協力頂き、ほぼ予算通りの決算ができましたことを、財務委員会一同、心より感謝申し上げます。

2011～2012年度 地区資金決算書

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金決算書

2011年7月1日～2012年6月30日

ガバナー 岡部 泰鑑
代表幹事 境 高彦
財務委員長 梅崎 道夫

地区運営資金

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
1. 地区資金	37,000,000	37,052,500	
2. RI助成金	2,000,000	1,807,560	
3. 雑収入	600,000	634,624	
収入合計	39,600,000	39,494,684	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
A. 負担金			
1. ガバナー会	800,000	766,200	
2. ロータリー文庫	1,200,000	1,101,300	
3. 平和奨学生支援協力金	60,000	55,320	
小 計	2,060,000	1,922,820	
B. 会議費			
1. PETS・地区チーム合同セミナー	1,500,000	1,934,620	
2. 合同地区委員会	900,000	856,410	
3. 財団セミナー	600,000	710,060	
4. DG P G G E会議	200,000	0	
5. G補佐・地区幹事会	30,000	10,500	
6. GE国際協議会	730,000	730,000	
7. 予備費	100,000	0	
小 計	4,060,000	4,241,590*	
C. ガバナー経費			
1. ガバナー事務所経費	29,930,000	29,203,796	内訳別掲
2. ガバナー月信費	5,300,000	5,273,880	
3. ガバナー補佐経費	100,000	68,250	
4. 直前DG記念品	100,000	100,000	
小 計	35,430,000	34,645,926	
D. 総予備費	120,000	0	
支出合計	41,670,000	40,810,336	
収支差額	-2,070,000	-1,315,652	
前年度繰越金	3,672,588	26,706,746	
次年度繰越金	1,602,588	25,391,094	

*印は大科目間流用

ガバナー事務所経費

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
1. 家賃・光熱費	4,400,000	4,232,588	
2. 給料・手当	16,530,000	16,189,900	
3. 厚生費	2,300,000	2,435,607	
4. コンピューター関係費用	1,300,000	1,405,800	
5. DG G E交通会合費	900,000	306,000	
6. 印刷費	1,400,000	1,869,670	
7. 交通通信費	1,500,000	1,549,896	
8. 文献費	50,000	27,246	
9. 事務用品費	600,000	529,078	
10. 什器備品費	150,000	107,800	
11. 雑 費	500,000	550,211	
12. 予備費	300,000	0	
合 計	29,930,000	29,203,796	

地区活動資金

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
1. 地区資金	25,900,000	25,936,750	
2. ポリオ広報活動協力金	5,550,000	4,738,590	
収入合計	31,450,000	30,675,340	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
A. 地区委員会活動費			
1. DG指名(委)	30,000	0	
2. 意義ある業績賞(委)	20,000	0	
3. クラブ奉仕部門			
クラブ奉仕・拡大増強(委)	480,000	245,205	
広報(委)	6,210,000	5,005,964	
4. 職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	250,000	238,381	
5. 社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	450,000	366,117	
6. 青少年奉仕部門			
新世代合同委員長会議	32,000	0	
青少年活動(委)	5,500,000	5,449,896	
ローターアクト(委)	4,700,000	4,580,626	
青少年交換(委)	5,650,000	5,607,596	
インターアクト(委)	2,000,000	1,973,490	
7. 国際奉仕部門			
国際奉仕・WCS(委)	320,000	164,493	
8. ロータリー財団部門			
ロータリー財団(委)	300,000	547,197	
財団情報・増進(委)	30,000	27,003	
財団奨学金・学友(委)	650,000	161,730	
研究グループ交換(委)	2,700,000	2,451,142	
財団人道的補助金(委)	45,000	6,287	
9. 米山奨学部門			
米山奨学(委)	350,000	329,738	
10. RI規定審議会派遣積立金	200,000	200,000	
11. RIJYEC維持協力金	400,000	364,700	
12. 危機管理(委)	500,000	500,000	
13. 予備費	2,000,000	0	
	-296,910		申請1件
小 計	32,817,000	28,219,565	
B. RI会長DG協調事業費	0	0	
C. IM広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	
D. 研修委員会	200,000	18,300	
E. ロータリー研究会準備基金繰入れ	0	0	
支出合計	35,417,000	30,637,865	
収支差額	-3,967,000	37,475	
前年度繰越金	13,303,410	31,727,967	
次年度繰越金	9,336,410	31,765,442	

特別会計

1. 地区大会資金

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
前年度繰越金	7,905,257	9,245,981	
地区資金	18,500,000	18,720,000	
地区大会会計へ	18,500,000	18,720,000	
地区大会会計から戻入		9,318,346	
次年度繰越金	7,905,257	9,318,346	

※地区大会会計の詳細については地区大会記録に収支計算書を掲載しております。

2. 米山奨学生生活動費

米山奨学委員会

委員長：武島 秀吉

(単位:円)

【収入の部】

科 目	予算額	実 績	備 考
(財)米山記念奨学会より	2,700,000	1,660,000	
選考試験補助金		450,000	
カウンセラー研修会補助金		136,500	
ホームカミング補助費		136,150	
レクリエーション登録料		454,500	
米山奨学歓送会登録料		135,400	
米山奨学会からの補填		100,000	
地区活動資金からの補填		3,468	
受取利息		147	
収入合計	2,700,000	3,076,165	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
米山活動費	2,700,000	813,240	
レクリエーション		915,892	
歓送会		588,958	
オリエンテーション		136,650	
ホームカミング		280,100	
米山奨学会学友会支援		72,755	
米山委員長会議		268,570	
スピーチコンテスト			
支出合計	2,700,000	3,076,165	
収支差額	0	0	
前年度繰越金	0	0	
次年度繰越金	0	0	

3. 世界社会奉仕基金

国際奉仕・WCS委員会

委員長：古澤 照明

(単位:円)

【収入の部】

科 目	予算額	実 績	備 考
クラブ拠出金		0	
寄付		0	
受取利息		253	
収入合計		253	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
プロジェクト資金		1,090,160	
送金手数料		900	
支出合計		1,091,060	
収支差額		-1,090,807	
前年度繰越金	2,144,659	1,773,151	
次年度繰越金	2,144,659	682,344	

4. R I 規定審議会派遣積立金

(単位:円)

科目	予算額	実績	備考
前年度繰越金	1,054,400	1,054,400	
地区活動資金繰り入れ	200,000	200,000	
次年度繰越金	1,254,400	1,254,400	

5. ロータリー研究会準備基金

(単位:円)

科目	予算額	実績	備考
前年度繰越金	6,000,000	0	
地区基金繰り入れ	0	0	
ロータリー研究会へ送金	6,000,000	0	
次年度繰越金	0	0	

6. 危機管理積立金

(単位:円)

科目	予算額	実績	備考
前年度繰越金	500,000	0	
地区活動資金繰り入れ	500,000	500,000	
次年度繰越金	1,000,000	500,000	

地区基金

(単位:円)


科目	予算額	実績	備考
前年度繰越金	15,000,000	15,000,000	
受取利息	0	0	
特別会計へ取崩し	0	0	
利息を本会計へ繰り入れ	0	0	
次年度繰越金	15,000,000	15,000,000	

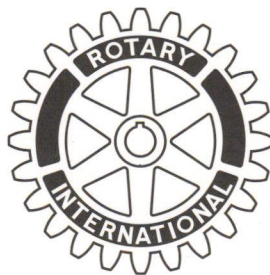
監 査 報 告

私は、国際ロータリー第2660地区の2011～2012年度 地区運営資金、地区活動資金および特別会計について監査した結果、正確適正であることを確認します。

2012年 8 月 20 日

会計監査

高谷晋介 



**ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660**